

明治維新150周年 薩摩の地域づくりの歴史

鹿児島市「維新ふるさと館」特別顧問 福田賢治

1 薩摩の特性

- (1) 島津氏700年の歴史（一度も領地換え無し）→「挙藩一致」
- (2) 戦い後の寛大な措置（薩摩の土風）→「戦い終われば同胞」という精神
- (3) 「人を以て城となす」4人に一人が武士（外城制度→郷土制度）
- (4) シラス台地と薩摩の三大栄養素（サツマイモ・大豆・黒砂糖）
- (5) 広い南の海を支配した薩摩（新情報や技術、交易の利、開明的藩主）
- (6) 戦争による教訓（勝組・負組の両者の気持ちを理解）、「丁丑の役」

2 鹿児島島の城下町の形成過程

- (1) 薩摩、大隅、日向の一部（諸県郡南部）→「薩州」
- (2) 東福寺城→清水城→内城（御内）→鹿児島城（鶴丸城）
- (3) 薩摩領内の人口推移と鹿児島城下の人口
- (4) 武家屋敷と町屋敷の区別、上方限と下方限、西田町
- (5) 稻荷川と甲突川（神月川）、川内と川外、軍制（組織一番組～六番組）
- (6) 斉彬の藩政改革、照国神社、五社詣り（南方、八坂、稻荷、春日、若宮）

3 民衆生活の様子と地域行事

- (1) 藩の民衆支配の仕組み→麓に仮屋（役所）、年寄り・組頭・横目
- (2) 野町（農村）、浦町（漁村）、門前町（寺町）、会所（町人の集会所）
- (3) 薩摩独特の「門割制度」→村（庄屋）・門（名頭・乙名・名子）
- (4) 徹底した薩摩の「廃仏毀釈」（「寺請け制度」の無かった薩摩）
- (5) 田の神祭り、鬼火炊き

4 郷中教育と鹿児島県の伝統行事

- (1) 先輩が後輩を教え導く「郷中教育」（伝統を引き継ぐ「学舎教育」）
- (2) 郷中の教え「負けるな」「嘘を言うな」「弱いものをいじめるな」
- (3) 日新公（島津忠良）「伊呂波歌」
- (4) 鹿児島県の伝統行事
 - ① 「妙円寺詣り」（徳重神社）・・・かつては「心岳寺詣り」（平松神社）も
 - ② 「曾我どんの傘焼き」
 - ③ 「赤穂義士伝輪読会」